

平成25年度事業計画

1 事業活動方針

当財団は平成25年4月1日付で公益財団法人として、新たなスタートを切ります。新法が求める諸基準を遵守しながら、事業運営を行ってまいりたいと考えております。今年度の事業計画においては、更なる助成金の増額をいたし、充実した事業運営をしていく所存です。

2 事業内容

社会福祉団体及び社会福祉関係のボランティア活動団体の支援(第4条1号事業)

ア 社会福祉団体活動支援

(7) 目的 : 社会福祉活動を行なう団体及び諸施設を支援するために助成金を支給する。

(イ) 対象団体 : 県内の障害者支援事業団体及び高齢者福祉支援事業団体等。

(ウ) 助成の範囲 : 障害者及び高齢者用福祉機器の設備費又は購入費の補助、事業活動費及び事業運営経費の補助。

(エ) 助成額 : 年間 950万円以内とし、その内訳は次を目途に決定する。
・ 機器の設備費又は購入費 50万円限度
・ 事業活動費 30万円限度(特別事業活動は別途調整とする)
・ 事業運営経費 10万円限度
上記45団体を目途とするが、申請状況により社会福祉ボランティア活動支援及びその他社会福祉活動支援との合算による団体数及び助成金額の調整を行なう。

(オ) 時期 : 本助成事業の実施時期は次の通りとする。
5 月 助成申請受付(受付け期間1ヶ月)
7 月 審査委員会で選考し、その結果を評議員会にて審査の上、理事会にて決定する。
8 月 決定通知の発送及び助成金贈呈開始

イ 社会福祉ボランティア活動支援

(7) 目的 : 社会福祉ボランティア活動を支援するために助成金を支給する。

- (イ) 対象団体 : 県内の障害者ボランティア組織及び高齢者福祉支援ボランティア組織等。
- (ウ) 助成の範囲 : 障害者及び高齢者用福祉機器の設備費又は購入費の補助、事業活動費及び事業運営経費の補助。
- (エ) 助成額 : 年間450万円以内としその内訳は次を目途に決定する。
 ・機器の設備費又は購入費 50万円限度
 ・事業活動費 30万円限度 (特別事業活動は別途調整とする)
 ・事業運営経費 10万円限度
 上記30団体を目途とするが、申請状況により社会福祉団体活動支援及びその他社会福祉活動支援との合算による団体数及び助成額の調整を行なう。
- (オ) 時期 : 5月 助成申請受付(受付期間1ヶ月)
 7月 審査委員会で選考し、その結果を評議員会にて審査の上、理事会にて決定する。
 8月 決定通知の発送及び助成金贈呈開始

ウ その他社会福祉活動支援

- (ア) 目的 : 社会福祉団体活動及び社会福祉ボランティア活動以外の必要と認めた社会福祉活動に対して助成金を支給する。
- (イ) 対象 : 県内の社会福祉活動団体および組織等。
- (ウ) 助成の範囲 : 障害者及び高齢者用福祉機器の設備費又は購入費の補助、事業活動費及び事業運営経費の補助。
- (エ) 助成額 : 年間200万円以内とし、内訳は次を目途とする。
 ・機器の設備費又は購入費 50万円限度
 ・事業活動費 30万円限度 (特別事業活動は別途調整とする)
 ・事業運営経費 10万円限度
 上記10団体を目途とするが、申請状況により社会福祉団体活動支援及び社会福祉ボランティア活動支援との合算による団体数及び助成金額の調整を行なう。
- (オ) 時期 : 5月 助成申請受付(受付期間1ヶ月)
 7月 審査委員会で選考し、その結果を評議員会にて審査の上、理事会にて決定する。
 8月 決定通知の発送及び助成金贈呈開始

エ かながわともしびセンター活動支援

- (ア) 目的 : 当該センターが実施する福祉ポスター・絵本及び福祉作文コンクールの「ふれあい賞」に対する記念品の支給。
- (イ) 対象 : かながわともしびセンター（県内小学・中学・高校生）
- (ウ) 助成の範囲 : 各コンクールでの優秀賞「ふれあい賞」に対する記念品の支給助成。
- (エ) 助成額 : 3万円以内とし、その内訳は次を目途とする。
- ・福祉ポスター、絵本コンテスト 1万円
 - ・福祉作文コンクール 2万円
- (オ) 時期 : 当該センターの計画による次の各表彰式の時とする。
- ・ポスター、絵本コンテスト 7～9月 作品募集
9月 審査委員会
11月 表彰式
 - ・作文コンクール 9月 募集締切
11月 県審査会
1月 表彰式

オ 助成先との交流会・助成先訪問

(ア) 助成先との交流会

- ・目的 : 助成ニーズの把握と、次年度以降助成の在り方の研究。
- ・時期 : 2013年10月または11月。
- ・場所 : 横浜ランドマークタワー 25階ビジネスサポートフロア会議室。
- ・交流団体数 : 1グループ15団体・組織とする。

(イ) 助成先訪問

助成した団体又はボランティア組織の内5～6か所を目途に、助成の実施確認と助成先の状況を視察する。

以上